

LSフォーム〈FRC製プレストレスト長尺埋設型枠〉

NNTD 1215 FRC

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え
補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

意匠登録第1557313号
特許登録第6770817号

●特長

1.現場施工を合理化

ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

2.作業効率の向上

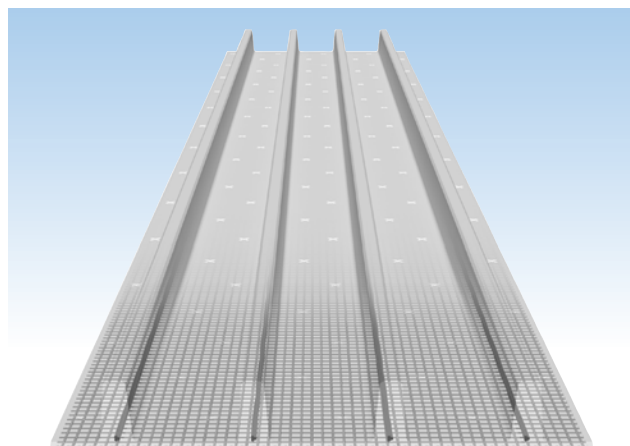
•製品重量:69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。

•耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。

※1枚に二人以上は乗らないでください。

3.コンパネ不使用による森林資源保護

4.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易



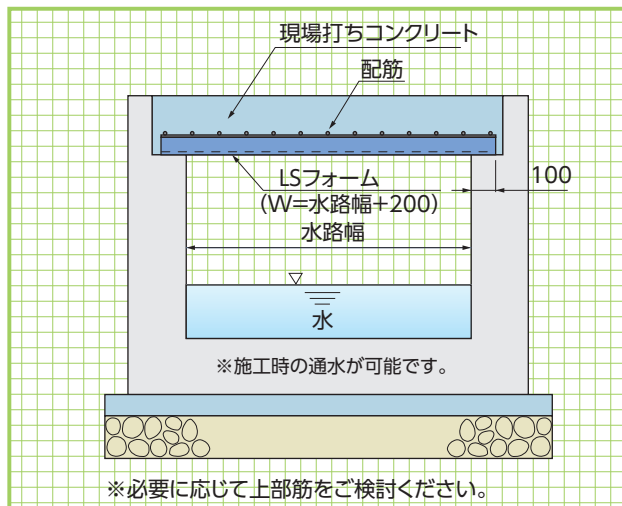
プレストレストの採用により従来のGRC製法と比較し
約2倍の曲げ強度を実現しました。

■用途

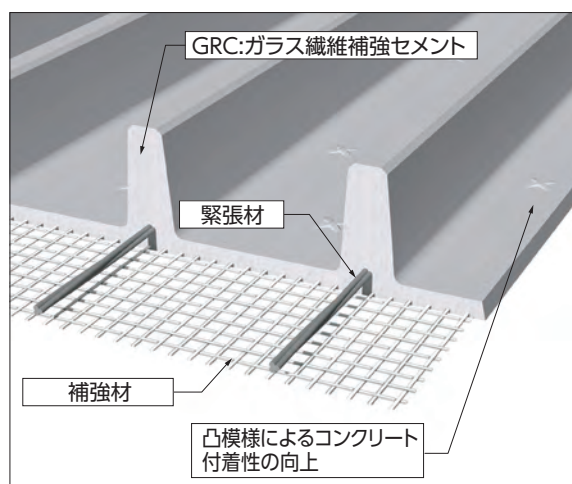
●長スパン用埋設型枠

溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

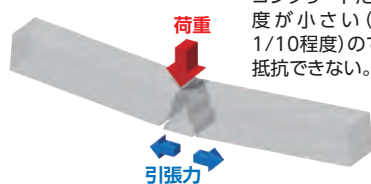
■参考施工断面図



■製品構造図

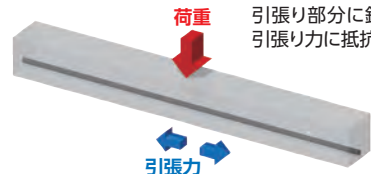


【無筋コンクリート】



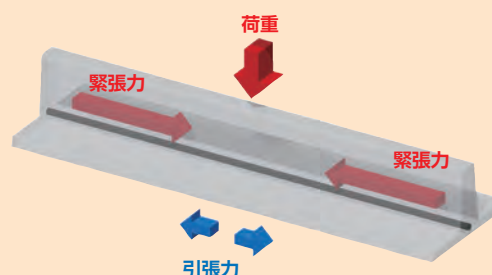
コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。

【鉄筋コンクリート】

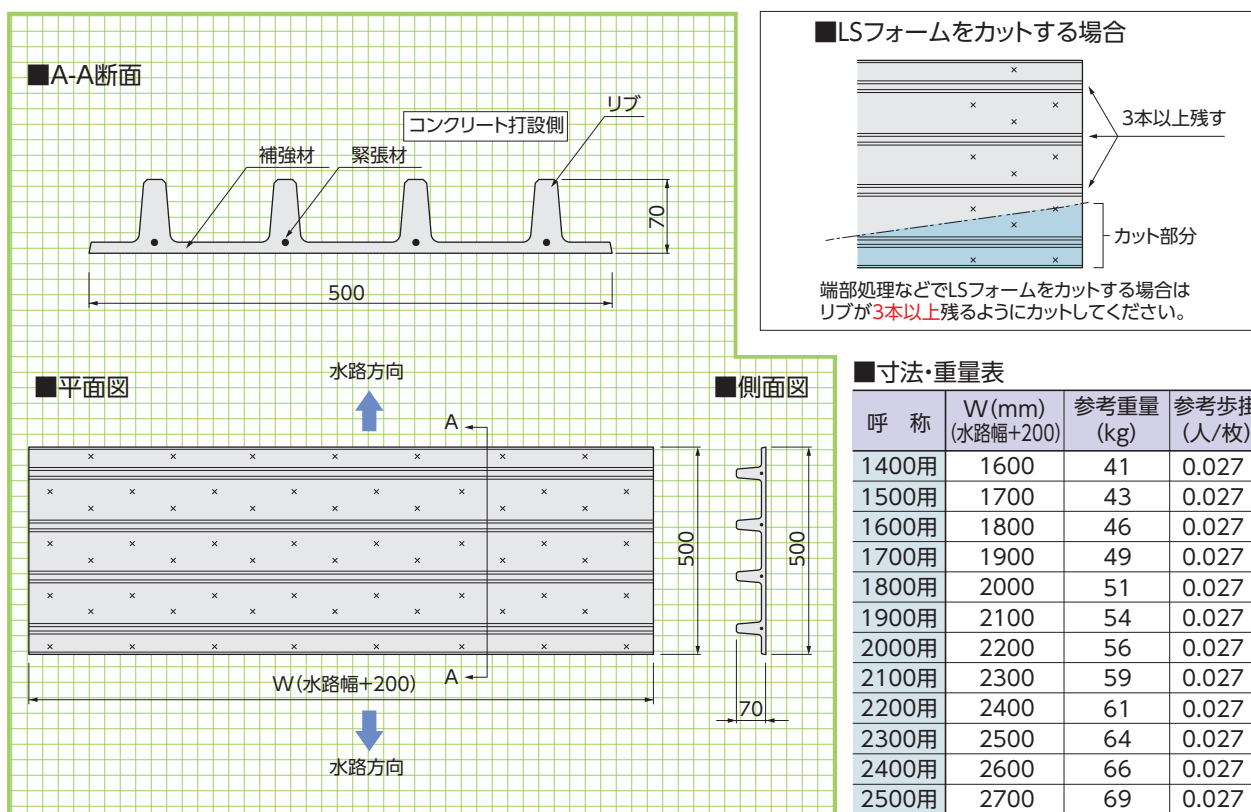


引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

【プレストレストコンクリート】 鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)



※プレテンション方式によるプレストレスト導入



※施工時はリブがついた面が上(打設面)となるように敷設してください。

※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはカンバー(緊張力による反り)がついています。

側溝・水路幅による製品の使い分け

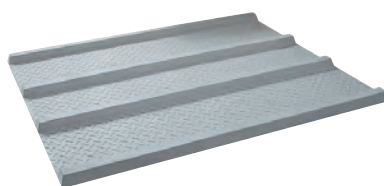
水路幅:250～600

KCフォーム



水路幅:600～1500

JSフォーム



水路幅:1400～2500

LSフォーム



▼施工例



※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはカンバー(緊張力による反り)がついています。

打設前



打設後



※必要に応じて上部筋をご検討ください。